

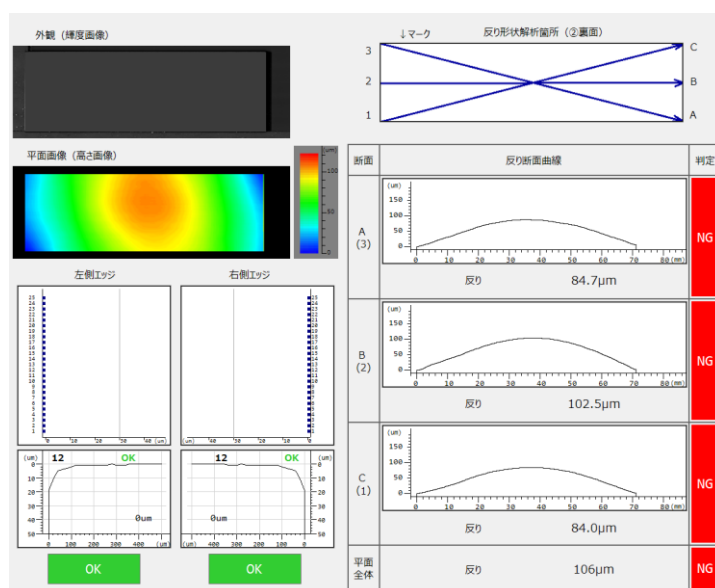
セラミックス板の反りを3次元検査！！

セラミックス板反り検査装置

～SP3D 応用事例～

セラミックス板の『反り』や『エッジ欠け』などの表面欠陥に対して従来はレーザー変位計や接触式測定機による『点』や『線』での検査が一般的でした。

セラミックス板反り検査装置では、SP3Dシリーズでの豊富なノウハウをもとに、特殊なレーザーシート光源と3Dカメラにて『面』の形状を捉えます。複数箇所の線上の反りでも1回で検査することが可能です。また非接触で検査するためワーク表面への悪影響や不良ワークによる検査機の破損もありません。



反りのあるセラミックス板の検査例…複数箇所の反り量を1回で測定

特徴

★非接触での全面検査を実現！！

- ・非接触で50mm幅ワーク全面の表面形状を検査！
- ・ワークを置いてボタンを押すだけの自動検査を実現！
- ・垂直分解能1 μ mで高さ測定！

★『面』での計測によりスピーディーな全数検査を実現！！

- ・全数検査によりトレサビリティデータの記録と傾向分析が可能に！
- ・既存の検査機の検査項目に合わせたカスタマイズも可能！
- ・複数線上の検査でも1回でOK！